

これまでの活動報告

7月
 ペット同伴・防災学習講演会（文化会館）
 大牟田・荒尾清掃施設組合議会
 広報広聴委員会広聴部会
 福岡県障がい福祉課との意見交換
 人権同和教育講演会（労働福祉会館）
 障害者政治ネットオンライン大会（3回）

8月
 人権同和教育実践交流会（文化会館）
 都市環境経済委員会
 広報広聴委員会広聴部会
 大牟田・荒尾清掃施設組合 全員協議会

9月
 都市環境経済委員会
 斉藤まこと名古屋市議後援会オンライン総会
 広報広聴委員会広聴部会
 9月議会・決算特別委員会
 ともだちや絵本美術館内覧会



これからの活動予定

10月
 都市環境経済委員会
 広報広聴委員会広聴部会
 大牟田・荒尾清掃施設組合 全員協議会
 高次脳機能障害シンポジウム（文化会館）
 議会報告会（地域代表者、帝京大学）

11月
 映画『いのち見つめて』上映会
 広報広聴委員会広聴部会

12月
 都市環境経済委員会
 12月議会



動物園内に「ともだちや絵本美術館」が10月1日に開館しました



議会でも賛否両論があり、駐車場整備と一緒に開催することで有利な条件となり、市の単独支出を圧縮できたことにより賛成多数で事業が進められた「ともだちや絵本美術館」が10月1日に開館するにあたり、市議会として事前内覧会に行ってきました。

旧老人福祉センター跡地のため、駐車場からは急勾配ですが、眺望は抜群です。また、休憩スペースには80席ほどの椅子があり、休憩したり、常設の絵本を読んだり、お弁当を食べたりできます。展示コーナーには、内田麟太郎さんの原画が展示してあります。さらに読み聞かせコーナーもあり、図書館で開催されていた読み聞かせがこちらで行われます。



ゆっくりと過ごせる新たな空間です。写真のように多目的トイレもばっちりです。また、特設サイトも立ち上げられています。

<https://omuta-pr.com/>

★お困りごとなどご相談ください
★ホットニュースを読んで頂ける方にはお届けします。お気軽にご連絡ください。

でんわ：090-2517-4005
 ファックス：0944-85-0028
 E-mail: furusho_net@hotmail.com

【第2部：ご投稿と活動報告など】

A型事業所「27garu.earth」をオープンしました

こんにちは、一般社団法人27garuと申します。この10月に27garu.earthという、しょうがいのある人たちと共に働く場所を、みやま市山川町に立ち上げました。就労継続支援A型と呼ばれる事業所です。

この事業所を開設する目的は、「障害のあるなしに関わらず、自分の良いところを活かし、楽しく生き生きと働くことができ、自分が必要とされる喜びを感じられる社会の実現」（法人定款より抜粋）です。まずは、この事業所が利用者様にとって、そのような場所になることから始めます。

事業所のスタッフのことを少しご紹介しますと、管理者は、東京の事務用品販売会社を経営していたことがあり、自身も内部障害があります。サービス管理責任者は、30年以上障害福祉に携わってきたベテランで、言語聴覚士・社会福祉士の資格を持っています。生活支援員は栄養士の資格があり、保育園の給食作り、メニュー開発に携わってきました。



A型事業所は、利用者の皆様と雇用契約を結んで、最低賃金以上のお給料をお支払いします。そのためには、きちんと収益の出る事業を実施していかないとはいけません。27garu.earthのこだわりは、「身体と心と環境に良い食べ物・商品を提供すること」と「もったいない」精神を大切にすることです。具体的には、農福連携（農家さんからの請負業務や、自社菜園での野菜作り）と、27garuセレクトの物販（古本、洗剤、化粧品、調味料など）を行います。

新規立ち上げの事業所ですので、これから仕事を作っていく段階にありますが、だからこそ、利用者様お一人お一人にあったお仕事を提供できると考えています。また少しでも働くことに対するハードルを下げて、しょうがいのある方の就労へのチャレンジを後押ししたいので、「週10時間」から働いてステップアップしていくこともできます。

まずは美味しいお茶でも飲みながら、お話ししませんか。お気軽にお越しください。よろしくお願いたします。

【事業所情報】
 一般社団法人27garu（つながる）
 27garu.earth（つながるあーす）
 〒835-0113
 福岡県みやま市山川町重富121ルフラン2F
 でんわ 090-7858-1441
 メール 27garu.a@gmail.com

「障害者の自立と政治参加をすすめるネットワーク」オンライン大会ご報告

コロナウイルス感染症が収束しない中、冬に続き、夏もオンライン全国大会を開催しました。今回は3日に分けて開催し、前半は障害当事者参議院議員の3名に1名ずつ国政報告を頂き、後半は各地方議員からの報告がありました。毎回、報告も質疑も中身が充実し、意義ある大会となりました。概要を報告します。

■第一日目：7月31日

前半の船後靖彦参議院議員による国政報告では「医療的ケア児支援法」の成立に「永田町子ども未来会議」という議連の一員として動いたことが報告されました。この法律で、医療的ケアの必要な子どもさんの保育、教育などの環境整備が進めやすくなることを期待しています。

後半の地方からの活動報告では、古庄より、①義肢装具士ではない技術者が採型・適合した靴型装具の補装具支給と治療用装具の保険適用、②65歳問題、③障害児の訪問入浴、④ワクチン接種の合理的配慮、⑤要配慮者が陽性になったときの対応、⑥地域防災計画見直しと要配慮者の個別支援計画、⑦インクルーシブ公園と総合体育館整備、⑧公共施設のバリアフリー検討状況の8点報告しました。

また、高橋宜隆伊勢崎市議からは障害平等研修の重要性も提起されました。



■第二日目：8月21日

前半は、木村英子参議院議員から様々な角度から活動報告を頂きました。

特に、障害当事者が新型コロナウイルス感染症に感染した時の対応や様々な改善点を報告頂きました。

後半は、まず、藤林詠子久留米市議から「学校事故の補償について～障害者に平等で公正な補償を求めて、裁判から法改正の運動へ～」がありました。

詳しくは、「すべての障害者への公正かつ平等な事故補償を求める会」のホームページをご覧ください。 <https://kaeru2.jimdofree.com/>

その後、今回の8月豪雨報告として、藤林さん、古庄、ゆめ風基金の八幡さんから報告しました。

藤林さんからは、罹災証明の発行については市職員が対象地域を訪問し、発行の手続きと支援策のチラシを届ける取り組みについて報告がありました。

古庄からは、資料に基づき、
 今年の豪雨との違いとして、

- ・ 去年は、1日で450ミリ、1時間95ミリ、4時間で300ミリの短時間集中豪雨
- ・ 今年は、アメダスでは8日間で1049ミリ、24時間最大312ミリ、1時間最大47ミリ。



雨量が多かったものの短時間に集中しなかったことと、今年の豪雨の教訓で、ポンプ場の増強、河川・水路の浚渫等により、浸水被害等は激減したことを報告し、豪雨被害が続く自治体は、台風前にも河川・水路の浚渫等の必要性を提起しました。

意見交換の中で、国の側溝、暗渠等のガイドラインを確認する必要性を共有し、後日古庄より、メーリングリストに情報提供しました。最後に「ゆめ風基金」の八幡さんからは、「被災されて支援が必要な障害者や事業所の情報をお寄せください。」との依頼がありました。

「ゆめ風基金」 <https://yumekazek.com/>

■第三日目：8月28日

前半は、国政報告として、横澤たかひ参議院議員からの報告がありました。ご自身がパラリンピアンであったことから、障害者スポーツについて報告があり、学校での体育の授業についても議論が交わされました。

休憩をはさみ、後半は、家根谷敦子明石市議会議員から、「旧優生保護法」の裁判判決報告がありました。その中で、旧優生保護法（1948～96年）の下で障害などを理由に不妊や中絶の手術を強いられた市民とその配偶者に対し、それぞれ300万円を支給する条例を9月市議会に提案されることも紹介されました。自治体による支援条例は全国でも異例のことです。

<https://www.call4.jp/info.php?type=items&id=I0000068>



すぎきこかすきみなまたしぎかいぎいん がつ にちこうかい
 杉迫一樹水俣市議会議員からは9月23日公開の映画「MINAMATA」が紹介されました。

<https://longride.jp/minamata/>
 つづいて、新規会員の吹田市在住の障害当事者、河合翔さんから自己紹介がありました。熊本市議の村上博さんからセルフガソリンスタンドにおける合理的配慮の不提供について報告があり、代表・さいたま市議の傳田ひろみさんからまとめのあと、精神障害者国家賠償請求訴訟についての紹介がありました。

<https://seishinkokubai.net/>
 とりそらさかなみずひとしゃかい そしょう
 「鳥は空に魚は水に人は社会に」訴訟
 さいごに、事務連絡を行い、初めての企画であった3日間のオンライン全国大会を終えました。

【3日間のオンライン全国大会を終えて】

3名の障害当事者参議院議員からの詳しい国政報告はそれぞれに特徴があるものの障害当事者議員ならではの視点が多くありました。木村英子参議院議員からは大牟田市の水路や側溝の浚渫と三川ポンプ場の増強などが功を奏し、8月の豪雨では被害が少なかった報告について、後日改めて問合わせがあり、総務省の緊急浚渫推進事業等を紹介し、今後の政策提言に生かして頂きました。

また、松上京子田辺市議会議員からは、公共施設のバリアフリー検討状況について問合わせがあり、現状を伝え、一般質問に生かして頂きました。古庄も1月の大会などでインクルーシブ公園の情報を受け、3月の一般質問で必要性を提案し、前向きな答弁を頂きました。

また、新聞社からの取材も受け、少しずつ関心が寄せられています。

多様な障害の会員が増えていくなか、それぞれに必要な合理的配慮も調査していく必要があります。政治参加ネットの詳しい活動はホームページをご覧ください。 <https://seijisanka.wixsite.com>